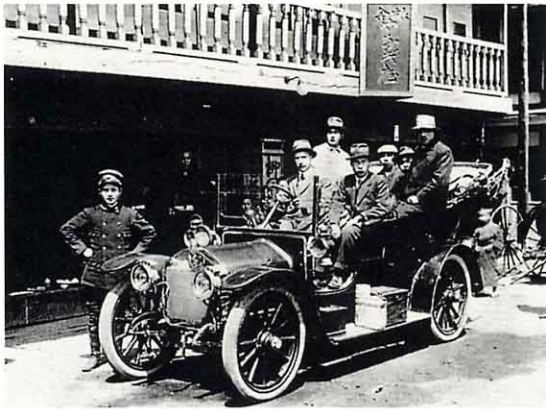


② おじいさん・おばあさんが、子どものころ



たいへいよう
太平洋戦争が始まったころ、西郷村の人々は、
どんなくらしをしていたのでしょう。



昭和の初期 自動車

男の人の多くが戦争
に行き、人びとの生活
も苦しくなりました。
食べ物がふそくし、
「ぜいたくは、てきだ」
と教えられました。



〔かおりさんの
となりの
おじいさんの話〕

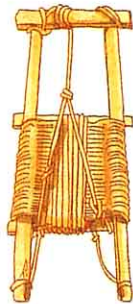
自転車や乗合自動車
のりあい
が走るようになったが、ほとん
どの家は、やせうまやしょいか
ごで荷物を運んだんだよ。

白河まで荷物を運ぶのは、馬
や牛の仕事だったのさ。

村には、いろいろな所から行
しょうにん くすり
商人が、薬やなべなどを売りに
来ていたな。（昭和20年ごろ）



しょいかご



やせうま



とやま
富山の薬売りの話を聞いた
ことがあるよ。